

■ のしろ 能代園芸の開祖

村井 菊蔵

むらい きくぞう

出身地 能代市

1875年（明治8年）～1947年（昭和22年）

のしろ さきゅうち 能代の砂丘地でのナシ栽培で知られる。試作した
かじゆ 果樹、野菜の品種は数百と言われ、新品種の作出に
も成功。ばんねん 晩年は園芸技術の指導につ 尽くした。



年譜

- 1875年 のしろ 能代市に生まれる。ようめい きくぞう 幼名・喜久蔵。
- 1887年 ていじょうじんじょう 湊城尋常高等小学校卒業。
- 1894年 たくち かじゆ 宅地内で果樹、野菜の栽培を始める。さいばい
- 1902年 さきゅうち 砂丘地を借りて開墾、かいこん 果樹・野菜を栽培。
ナス、キュウリのおんしょうさいばい 温床栽培を開始。このころ
ナス「きくせんなり 菊千成」、マクワ「きくまくわ 菊甜瓜」の作出に成功。
- 1907年 全国にさきがけナシたなかけ 鉄線棚架を考案。
- 1911年 能代青年園芸研究会を結成し、副会長にしゅうにん 就任。
- 1919年 山本郡農業ぎて 技手となる。28年、秋田県農会技師。
- 1947年 のしろ ぼつ 能代市で没。72歳。さい